

3. 品質

医学・栄養学的見地からみて、物性面・栄養面が配慮され、乳児および幼児が摂食するに適したものであること。

3-3 カフェイン量

乳幼児の発育時期に配慮して、低減に努めること。

同種の製品（乳幼児向けを除く）よりも低い量としなければならない。